

## アカデミック英語 No.7

英語で問題提起する —— The issue of…・One challenge is…・A key concern is…を使った導入技術

## 導入文

英語の論述で「I think…」や「In my opinion…」から始めると、採点者には「論証の前段階（問題提起）が不在」と読まれる。The issue of…・One challenge is…・A key concern is…・This raises questions about…などの問題提起表現を使うことで、論述の冒頭から問題の所在を明確にできる。

## 講義概要

英語論述における問題提起（problem framing）の表現を体系化する。The issue of…・One major challenge is…・A central concern is…・This raises the question of…・At stake is…など、問題の所在・重要性・複雑さを示す表現を分類し、医学・社会テーマの英語論述の冒頭で問題提起を正確に行う技術を習得する。

**授業目標：**英語論述の導入を「私の意見は」から「問題提起→論証」という構造への転換を実現する。

**対象者：**高2（英語得意層）～高3・浪人生。英語論述・面接がある難関国公立・医学部受験生で、論述の冒頭の問題提起を強化したい生徒。アカデミック英語No.1～6の受講後が望ましい。

**授業時間：**授業90分＋演習・質疑応答30分

**到達目標：**問題提起表現を3パターン以上使いこなせる／論述の冒頭で問題の所在を明確に示せる／面接での導入を問題提起型に変えられる

## 授業構成（90分）＋演習・質疑応答（30分）

**授業90分：**1 導入：「I think…」で始まる論述と問題提起型論述を比較 2 問題提起の3機能：問題の所在・重要性・複雑さを示す 3 所在表現：The issue of…・One challenge is…・A key concern is… 4 重要性表現：At stake is…・What is at issue is… 5 複雑さ表現：This raises questions about…・The tension between X and Y… 6 演習：医学テーマの論述冒頭を問題提起型に書き直す 7 まとめ：「冒頭は必ず問題提起で始める」習慣を固定

**追加30分：**医学テーマ3つで問題提起から始まる論述冒頭（50語程度）を書く演習と、表現の自然さについてフィードバックを行う。

**板書・スライド骨子：**問題提起の3機能の定義／表現一覧（所在・重要性・複雑さ）／論述冒頭テンプレート（問題提起型）／医学テーマへの適用例

**課題：**医学テーマ2つを選び、それぞれについて The issue of… と A key concern is… を使った問題提起文（各2文程度）を英語で書く。

**備考：**高校・予備校の先生方／編入学試験および大学院受験への橋渡しの基礎確認をしたい方にも対応。